

「使える」ハイウェイ推進会議提言に関する アンケートについて

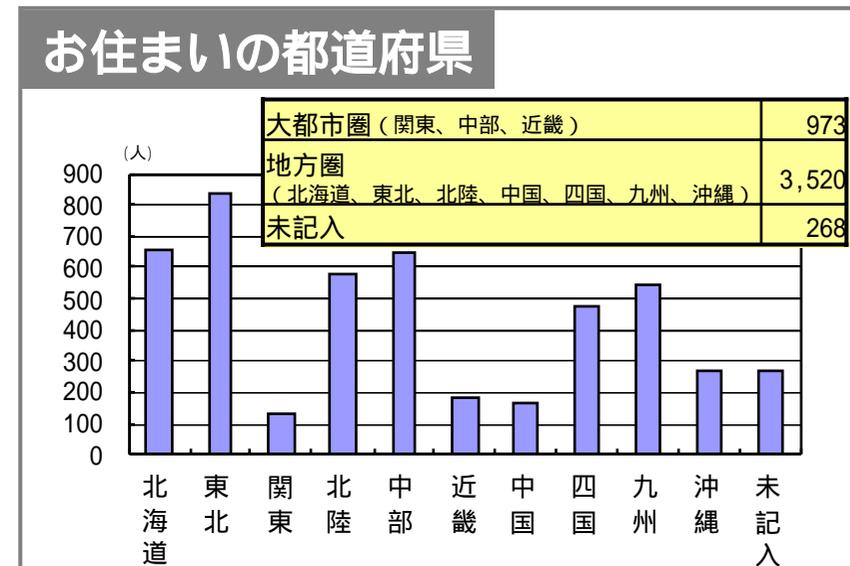
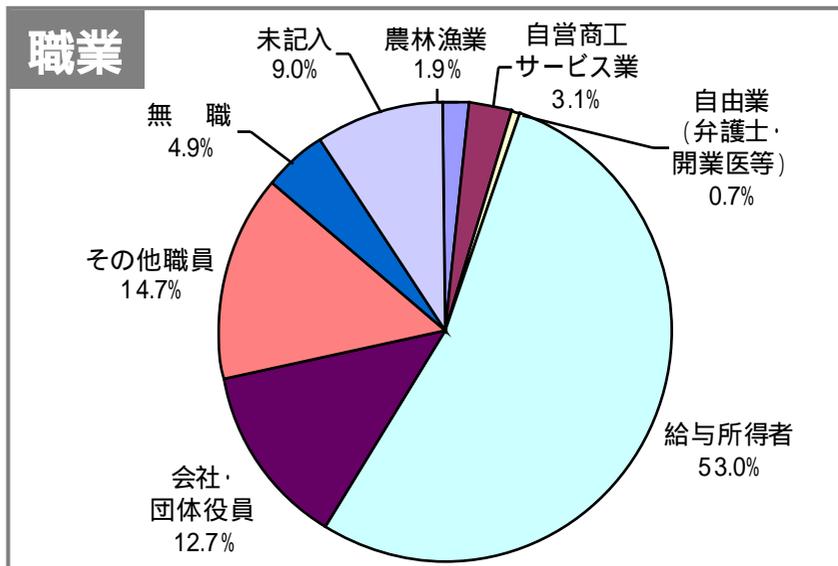
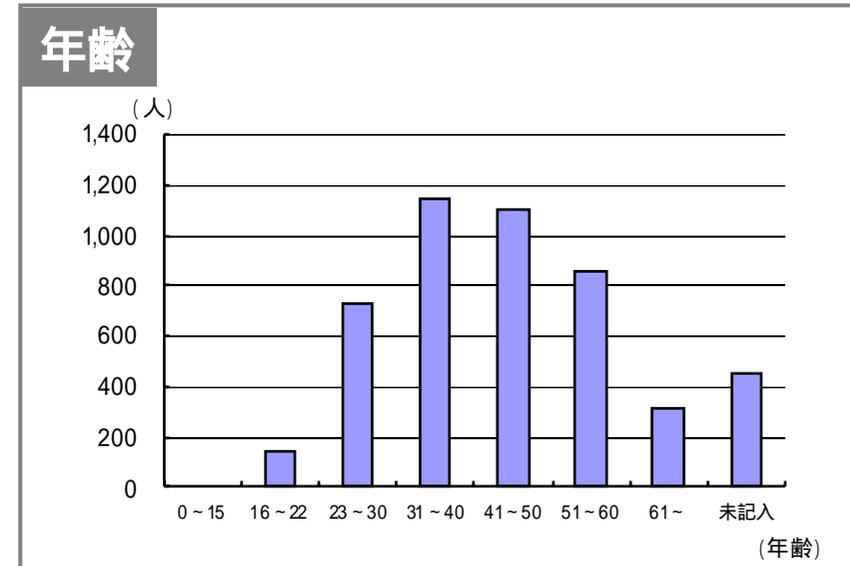
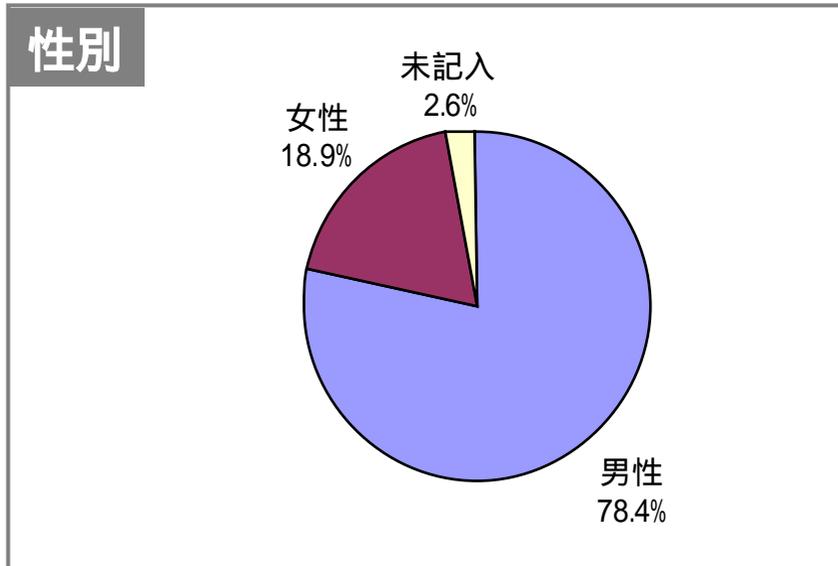
1 . アンケートの概要

実施期間：平成17年4月～7月

実施方法：「使える」ハイウェイ推進会議提言にアンケート票を添付し
郵送、FAXにて受付
またホームページ上でも同様のアンケートを実施

設問： 高速道路が十分利用されないため起きている問題の認知度
道路交通をとりまく我が国の社会の重要課題
「使える」ハイウェイを実現するために重要な主要施策
「使える」ハイウェイの実現に向けた今後の取り組みに関する
自由意見

2. 意見の受付状況（受付件数:4,761件）



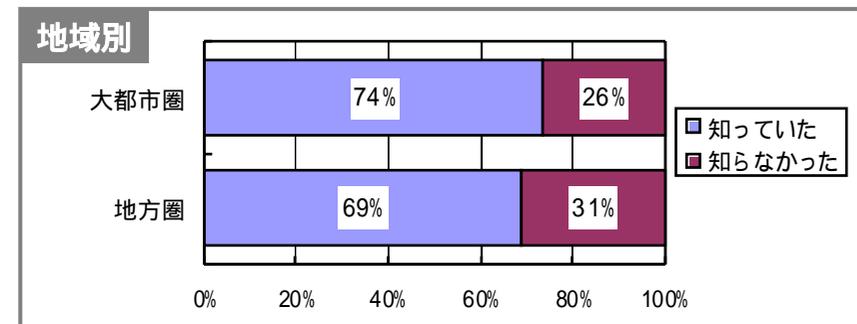
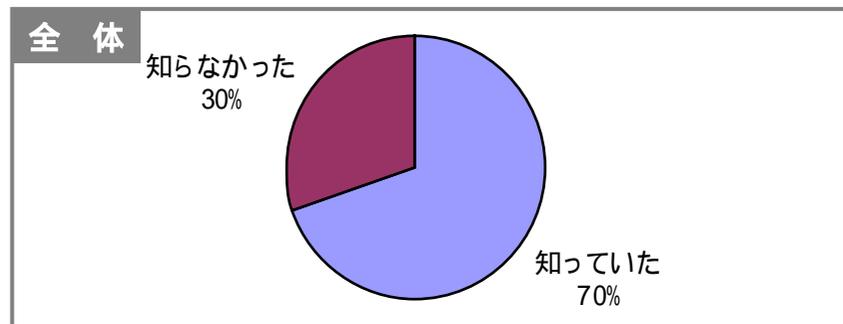
3. 意見概要

(1) 高速道路が十分利用されないため起きている問題の認知度

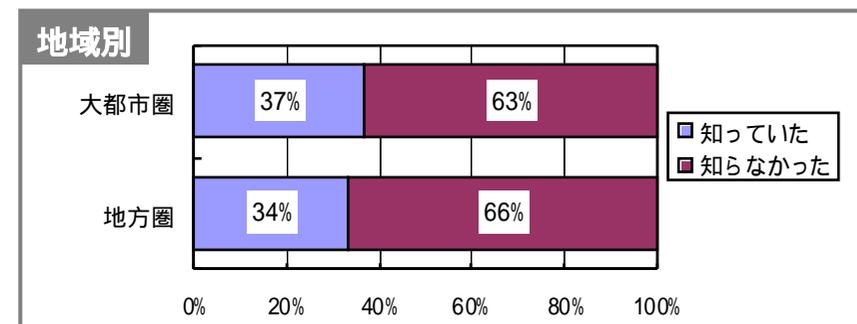
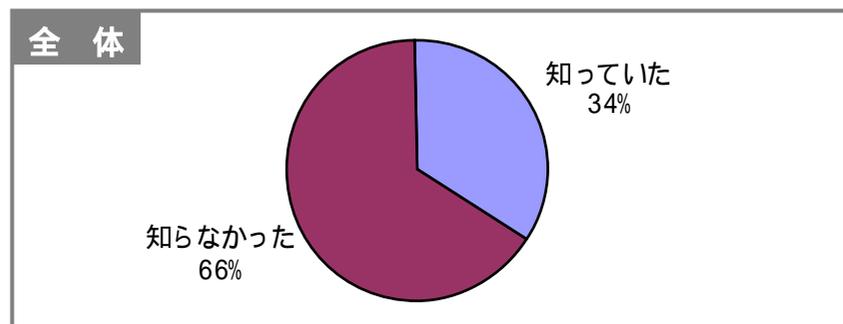
「高速道路に並行する一般道路の問題」の認知度は高いが、「不十分なモビリティ（国民の移動距離の短さ等）の問題」の認知度は低い。

認知度については、地方圏に比べて大都市圏の方が若干高くなっている。

問1-1 高速道路に並行する一般国道の渋滞、沿道の環境問題、交通問題についてご存じでしたか



問1-2 豊かな生活の実現た地域の活性化を図る上で、まだまだ不十分なモビリティ（欧米諸国と比較して短い国民の移動距離）についてご存じでしたか

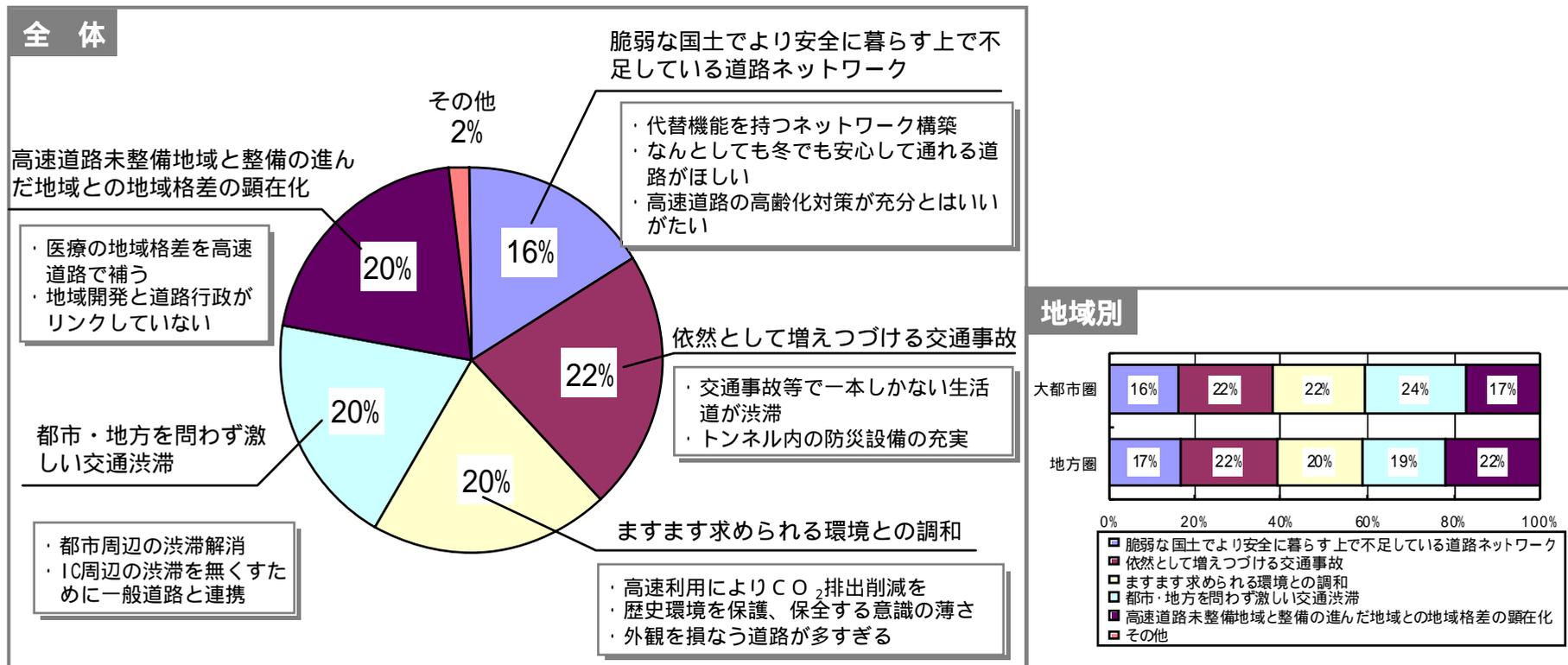


(2) 道路交通をとりまく我が国の社会の重要課題

1) 問題提起した5つの課題について

5つ全ての課題に回答が分散したが、「依然として増え続ける交通事故」がやや多く、「脆弱な国土でより安全に暮らす上で不足している道路ネットワーク」が相対的に少なくなっている。
課題についての回答傾向は、大都市圏と地方圏で顕著な違いはみられない。

問2 道路交通をとりまく我が国の社会の課題について、あなたが重要だと思う課題を3つまでお選びください。

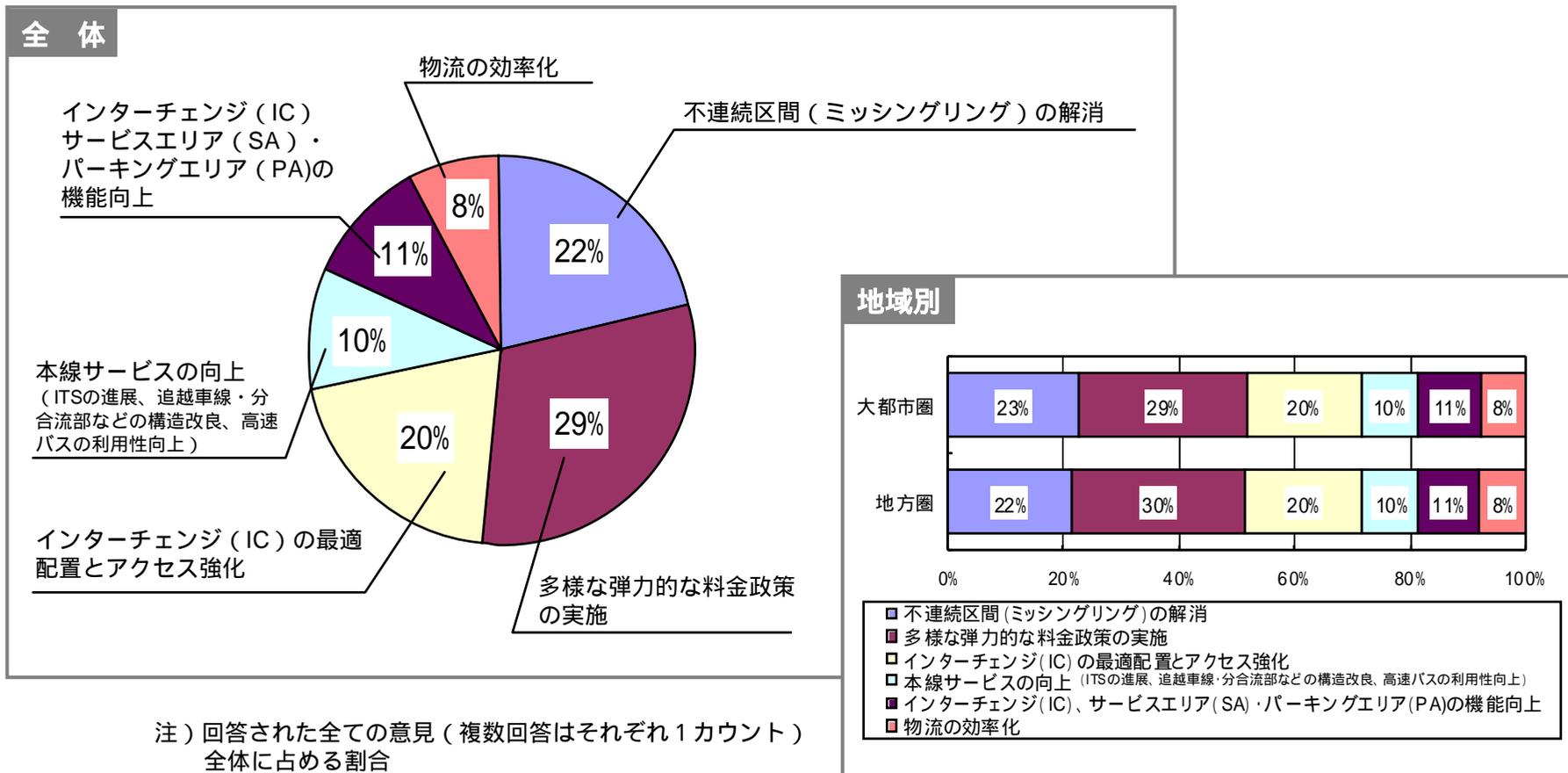


注) 回答された全ての意見(複数回答はそれぞれ1カウント)全体に占める割合

(3) 「使える」ハイウェイを実現するために重要な主要施策

「多様で弾力的な料金政策」に対する回答が最も多く、次いで「不連続区間の解消」、「ICの最適配置とアクセス強化」が多くなっている。
 (別途実施したインターネットアンケートでは、スマートICの認知度は57%と高い：次ページ参照)
 重要と思われる主要施策についても、大都市圏と地方圏で顕著な差は見られない。

問3 「使える」ハイウェイを実現するための主要施策として、あなたが重要だと思うものを3つまでお選びください。



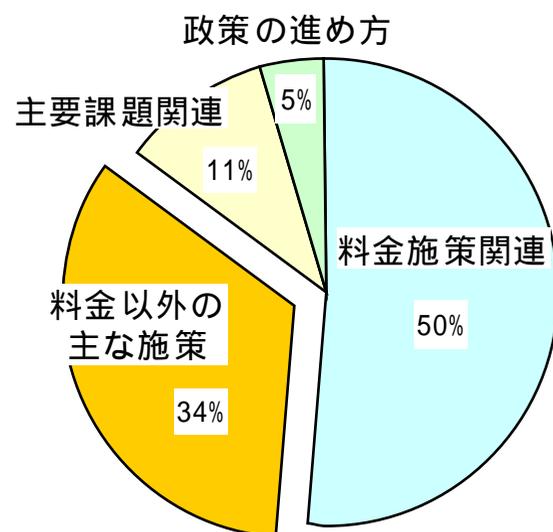
(4) 「使える」ハイウェイの実現に向けた今後の取り組みに関する自由意見

料金施策に関する意見が最も多く、その傾向は大都市圏と地方圏とも共有している。
 料金施策以外の施策については、高速道路ネットワークの整備に関する意見が最も多く、地域別に見るとその割合が顕著に高くなっている。

問4 「使える」ハイウェイの実現に向けた今後の取り組みについて、自由にご意見をお聞かせ下さい。 :1,863件

全体

- < 高速道路ネットワークの整備 : 14% >
 - ・ 対面交通では移動時間が短縮し難い
 - ・ 不連続区間の開通スケジュールの策定
- < IC / アクセス道路の整備 : 7% >
 - ・ ICから目的地に行くためにUターンしなくてはならない所がある
 - ・ 高速道路や ICに企業のPRを入れては
- < ETC関連 : 5% >
 - ・ 利用者の声を聞いて ETCの運用改善を
- < 道路構造、標識等の見直し : 3% >
 - ・ 例えば簡易高速道路のようなものを整備できないか?
 - ・ 運転の疲労負荷を軽減させる高機能舗装
 - ・ 標識が同じ色でわかりにくい
- < SA・PAの整備・利便性向上 : 2% >
 - ・ SA、PAの機能向上で道中も楽しめるハイウェイに
- < 高速道路以外の道路整備 : 2% >
 - ・ IC付近が混雑しないよう周辺の一般道路とうまく連携させてほしい
- < その他 : 2% >
 - ・ 管理事務所の駐車場等をハイウェイバス利用者の駐車場に利用
 - ・ 「高速道路」=「旅行」「贅沢」というイメージではなく日常生活の中で気軽に利用できる高速道路であって欲しい

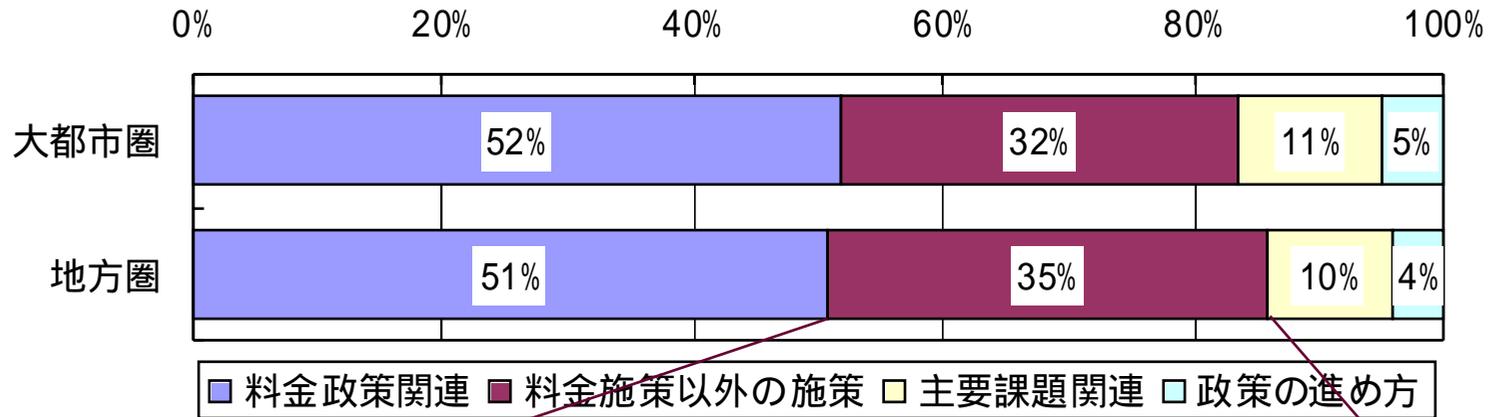


- < 新たな料金体系 >
 - ・ IC間の直線距離ベースで料金設定を (ルート設定はユーザのせいではない)
 - ・ 地域内の実情に合わせた料金体系により単なる通過市町村の解消を図る
 - ・ 県内だけの利用は定額(一律)にしては
 - ・ 混雑状況に合わせて料金体系を変更
 - ・ ネットワーク化している有料道路は料金制度を一元化
 - ・ 年間使用料を免許証保持者から一律徴収し料金所を廃止しては
 - ・ 利用は無料であるべき、費用は税金で
- < 割引制度の提案 >
 - ・ 優良運転者への優遇(料金待遇など)
 - ・ 沿線企業とタイアップした料金割引
 - ・ JRの青春18キップの様なチケットを
- < その他 >
 - ・ この料金で高速を利用すればこれだけの実利益があるという単純比較がほしい
 - ・ 物流交通の高速道路利用を条例で定める(料金は特別割引)
 - ・ ハイウェイ解放デーとして無料の日をつくる

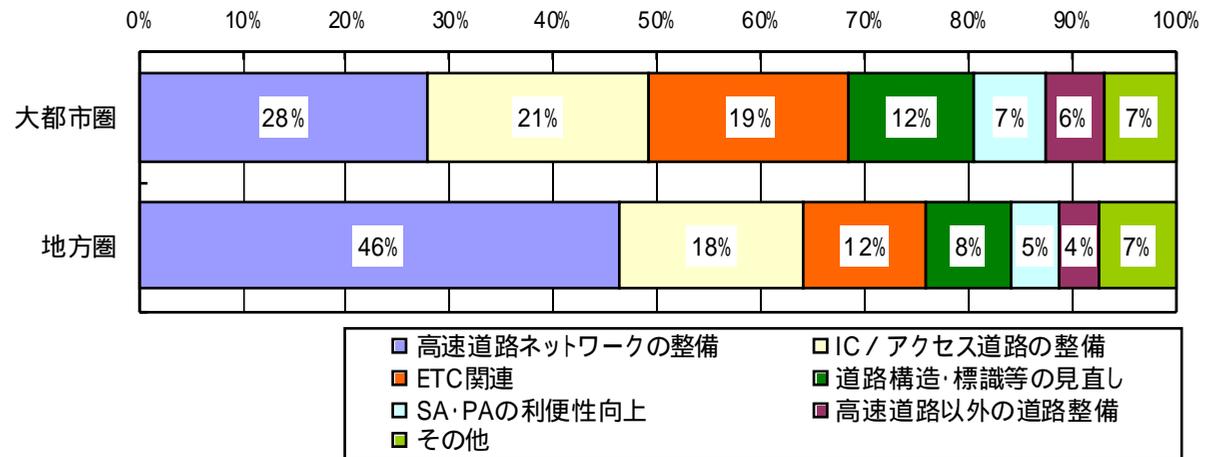
注) 回答された全ての意見(複数回答はそれぞれ1カウント)全体に占める割合

問4 「使える」ハイウェイの実現に向けた今後の取り組みについて、自由にご意見をお聞かせ下さい。 :1,863件

地域別

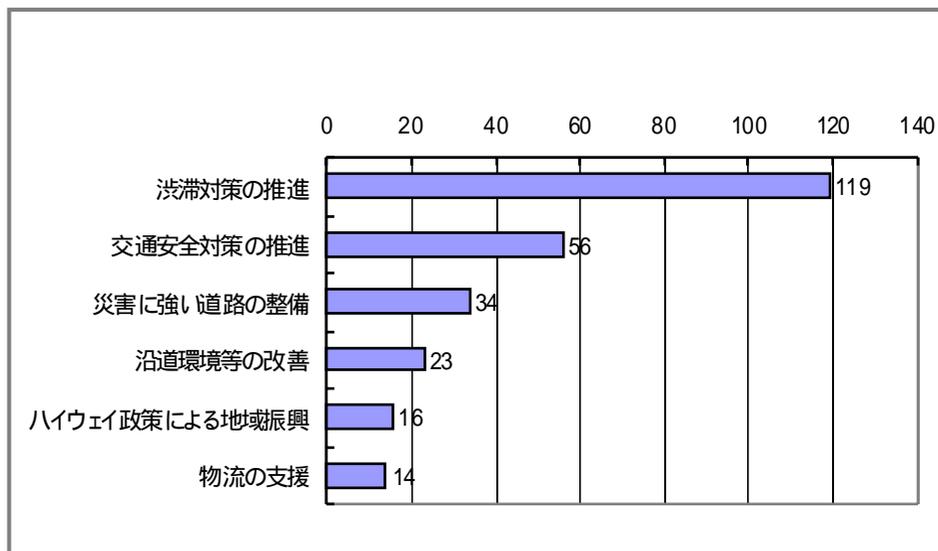


内訳



道路交通の主要課題に関する自由意見

項目別意見数

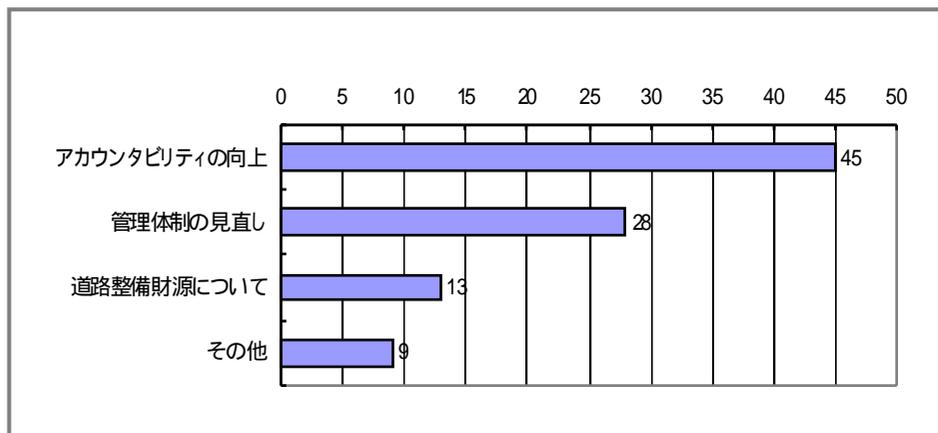


主な意見

- ・連休などでは一般道より渋滞していることがあり解消してほしい
- ・一番の心配は事故、我々ドライバーもモラルを高めたい
- ・災害等があった場合にも円滑な移動が出来るように
- ・景観への関心が高まっていることから構造物の色などについて配慮が必要
- ・都市計画のあり方と道路整備を絡めながら改善を図るべき
- ・大型トラックを高速から下ろさないで（有料サービスにより）積み替えを行い、中型トラックで地域物流を行う

政策の進め方に関する自由意見

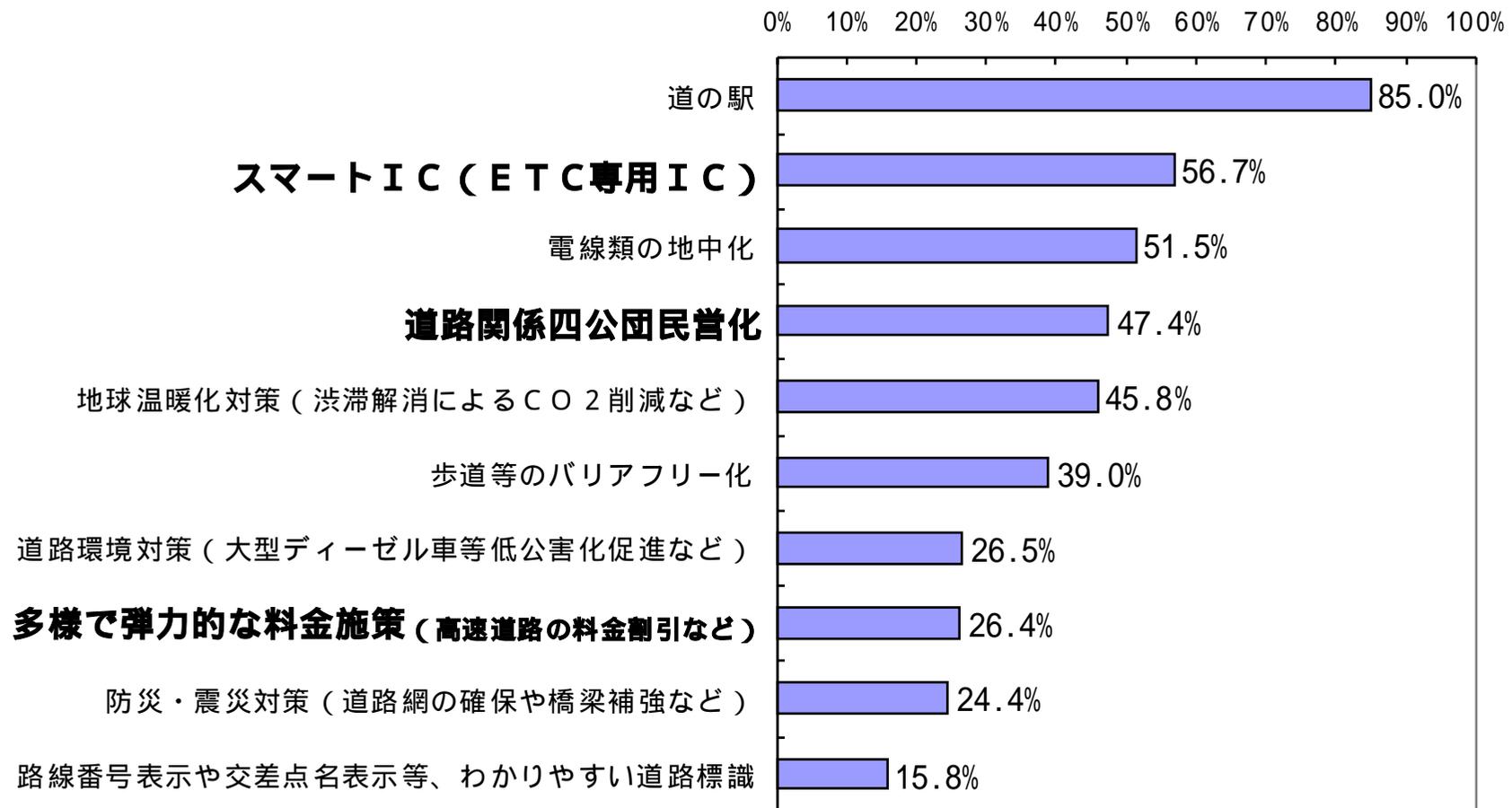
項目別意見数



主な意見

- ・みんなで使う道路なので、幅広い年齢（子供、老人）で免許の有無にかかわらず声を集めてほしい
- ・IC、SA、PAへの民間企業の参加
- ・行政機関等が主導的に利用し、移動で高速道路を利用する事が普通という文化を醸成する必要もある
- ・各自治体がいかに効果的にハイウェイを活用するかを考えなければ、地域が寂れてしまう

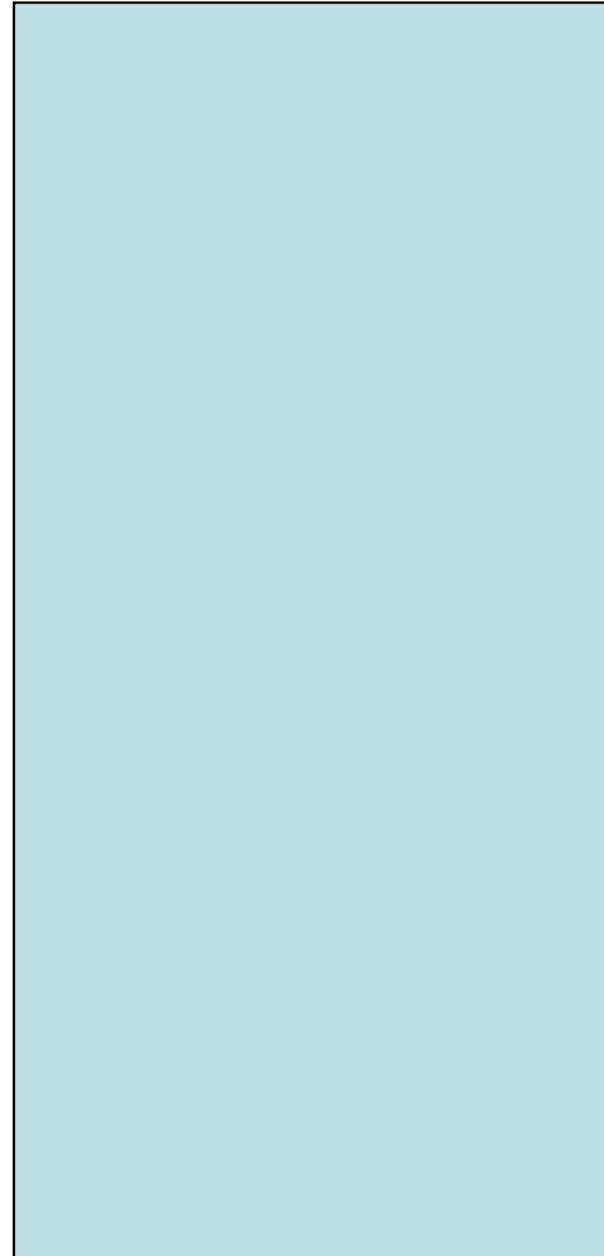
参考1 . 道路行政に関する主要施策の認知度（上位施策）



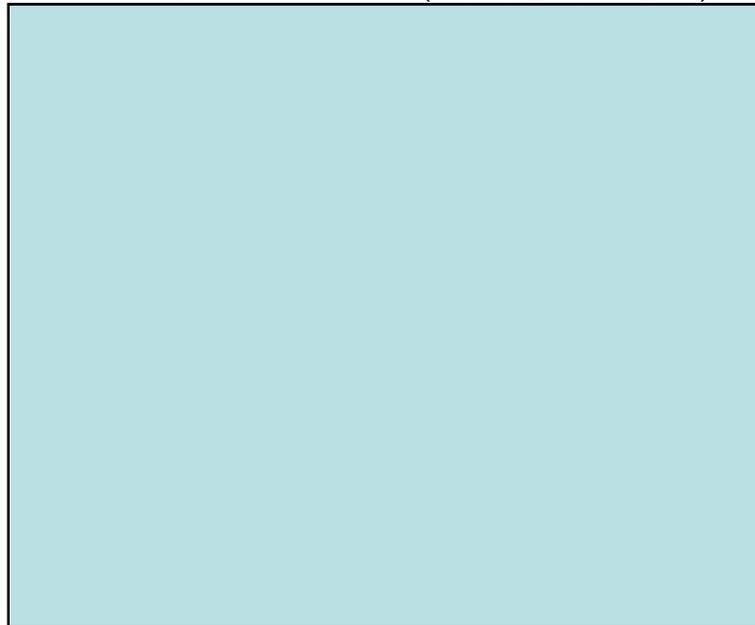
インターネットアンケート調査（H17.8.29～9.1実施）より
N = 1,172

参考2 . 「使える」ハイウェイ推進会議提言、関連施策等に関する新聞記事（一例）

読売新聞 2005/2/4



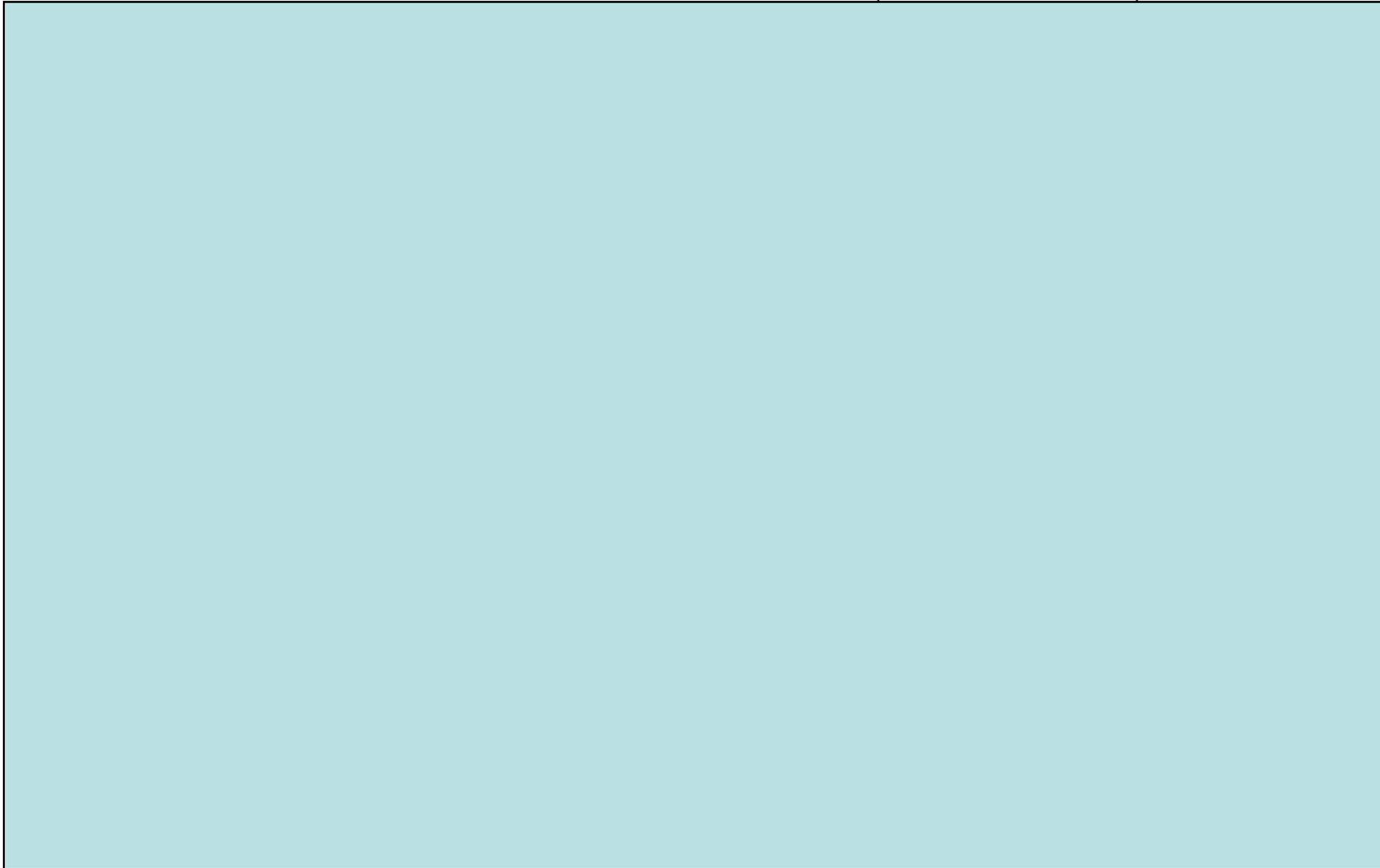
中国新聞 2004/12/4 (共同通信社配信)



参考2 . 「使える」ハイウェイ推進会議提言、関連施策等に関する新聞記事（一例）

日本経済新聞 2005/8/1

琉球新報 2005/7/29
「使える」ハイウェイin沖縄シンポジウム
(2005年7月15日開催)基調講演より



参考3 . 「使える」ハイウェイ政策に関する地方の声（一例）

要望者	日付	要望内容
島根県商工会議所等	H17.5.11	一般有料道路（安芸道路）の利・活用促進
島根県浜田市等	H17.6.2	山陰道（江津道路）の利用促進
東海北陸自動車道PAスマートIC設置推進協議会	H17.6.16	（仮称）河合PAスマートICの設置
富山県入善町	H17.7.7	入善スマートIC設置
広島県広島市	H17.7.26	有料道路を活用した渋滞対策への支援
岐阜県郡上市	H17.7.29	東海北陸自動車道「ひるがの高原SA」併設スマートIC設置
岡山県岡山市		高速道路料金設定の弾力的な運用
山形県寒河江市長等	H17.8.2	山形自動車道寒河江SAスマートICの恒久化
福島県福島市長等	H17.8.3	福島松川PAスマートICの恒久化
岡山県岡山市	H17.8	大佐SAスマートIC
全国スマートIC設置市町長	H17.8.22	スマートICの恒久設置